

証券コード：7806

MTG
We have many dreams

第23回 定時株主総会
招 集 ご 通 知

株主の皆様へ



MTG

代表取締役社長 松下 剛

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2018年は多くの自然災害が発生した稀に見る1年でした。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

さて、当社第23回定時株主総会を12月25日（火）に開催いたしますので、ここに招集ご通知をお届けいたします。

当社にとって2018年は大きな節目を迎える年となりました。創業から23年、おかげさまで、東京証券取引所マザーズ市場へ新規上場を果たすに至りました。当社ブランド・商品をご愛顧いただいている全てのステークホルダーの皆様に対し、これまでのご支援、ご高配を心より御礼申し上げます。

「JAPANブランドを世界へ」。私たちはこの想いを胸に、「ブランド開発カンパニー」として、革新的なブランドを創造し、世界へ発信していきたいと考えています。

今期、代表ブランドの『ReFa』は累計出荷数1,000万本（2018年7月末時点）を突破し、『SIXPAD』では、当社初めてのサービス業態として、近未来型EMSTトレーニング・ジム「SIXPAD STATION」1号店を東京代官山にオープン。新商品を次々と打ち出し、記憶に残る1年となりました。

これからも、当社はブランド開発を通じて、従業員一人ひとりが夢を堂々と語り、その夢に向かい挑戦するエネルギーで世界を輝かせていく。業界活性、ならびに新たな市場と雇用を創出し、世界中の人々が、より美しく、より健康的に生きることができる豊かな社会の実現に貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

企業理念

一人ひかる 皆ひかる 何もかもひかる

One shine, We shine, All shine

【一人ひかる：社員・会社】

社員一人ひとりが夢を持ち、光り輝く。

社員同士が夢や苦楽を共有し、切磋琢磨する。

そうすることでMTGはさらに成長していきます。

【皆ひかる：パートナー・お客様】

MTGは革新的なブランドを共に生み出し届けるパートナーと共に高め合い、栄えていきます。

そしてお客様の人生をも輝かせていきます。

【何もかもひかる：業界・世の中】

その結果、地域社会・業界・世の中に広く貢献し、

関わる全てを光り輝かせていきます。

目次

株主の皆様へ	1
企業理念	2
第23回定時株主総会招集ご通知	4
議決権行使のご案内	5
株主総会参考書類	
第1号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く）8名選任の件	7
第2号議案 監査等委員である取締役3名選任の件	12
事業報告	
❶ 企業集団の現況	21
❷ 会社の現況	38
❸ 剰余金の配当等の決定に関する方針	41
連結計算書類	
連結貸借対照表	43
連結損益計算書	44
計算書類	
貸借対照表	45
損益計算書	46
監査報告	
連結計算書類に係る会計監査報告	47
計算書類に係る会計監査報告	48
監査等委員会の監査報告	49

株主各位

証券コード 7806
2018年12月10日
愛知県名古屋市中村区本陣通二丁目32番
MTG HIKARIビル
株式会社MTG
代表取締役社長 松下 剛

第23回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第23回定時株主総会を下記のとおり開催致しますので、ご出席くださいますようご通知申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、書面またはインターネットにより議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討いただき、2018年12月21日（金曜日）午後5時45分までに議決権をご行使くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 日 時

2018年12月25日（火曜日）午前10時（受付開始 午前9時）
2. 場 所

愛知県名古屋市中区錦一丁目19-30
名古屋観光ホテル 3階 那古の間（末尾の「株主総会会場ご案内図」をご参照ください）
3. 目的事項

報告事項

1. 第23期（2017年10月1日から2018年9月30日まで）
事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第23期（2017年10月1日から2018年9月30日まで）
計算書類報告の件

決議事項

第1号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く）8名選任の件
第2号議案 監査等委員である取締役3名選任の件

以上

◎当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

◎本招集ご通知に際して提供すべき書類のうち、事業報告の「新株予約権等の状況」「会計監査人の状況」「業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況の概要」、連結計算書類の「連結株主資本等変動計算書」「連結注記」及び計算書類の「株主資本等変動計算書」「個別注記」につきましては、法令及び当社定款第14条の規定に基づき、当社ホームページ(<https://www.mtg.gr.jp/>)に掲載しておりますので、本招集ご通知の添付書類には記載しておりません。なお、会計監査人・監査等委員会が監査した連結計算書類及び計算書類並びに監査等委員会が監査した事業報告は、本招集ご通知の添付書類に記載のほか、上記の当社ホームページに掲載の事項となります。

◎株主総会参考書類並びに事業報告、連結計算書類及び計算書類に修正が生じた場合は、インターネット上の当社ホームページ (<https://www.mtg.gr.jp/>) に掲載させていただきます。

第1号議案

取締役（監査等委員である取締役を除く）8名選任の件

取締役（監査等委員である取締役を除く）全員（7名）は、本総会終結の時をもって任期満了となります。

つきましては、当社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目的とした経営体制の強化に向け1名増員し、取締役8名の選任をお願い致したいと存じます。

取締役候補者は、次のとおりであります。

なお、本議案については、監査等委員会からは、特段の意見はありません。

候補者番号	氏名	現在の当社における地位等		候補者属性
1	まつした 剛	代表取締役社長		再任
2	なかじま 敬三	常務取締役	グローバルブランド事業本部担当	再任
3	もとじま 一	取締役	ダイレクトマーケティング事業本部担当	再任
4	いのうえ 祐介	取締役	プロフェッショナル事業本部担当	再任
5	ながとも 孝二	取締役	企画開発本部担当	再任
6	かわしま 光貴	取締役	生産統括本部担当	再任
7	はせがわ のりお	取締役	法務知的財産本部担当	再任
8	くぜ 浩司	執行役員	経営企画室担当	新任

まつした 剛
(1970年9月1日生)



再任

所有する当社の株式数
21,576,440株

なかじま 敬三
(1970年4月6日生)



再任

所有する当社の株式数
240,000株

略歴並びに当社における地位及び担当

1989年 4 月 日本電装株式会社（現株式会社デンソー）入社
1992年 5 月 株式会社ヤマヒサ入社
1994年 7 月 ブレイズ創業
1996年 1 月 株式会社エムティージーブレイズ（現当社）設立
代表取締役社長就任（現任）

重要な兼職の状況

重要な兼職はありません。

取締役候補者とした理由

松下剛氏は、1996年1月の創業より、23年にわたり当社グループの経営を指揮してまいりました。創業以来一貫して「MTGフィロソフィ」をベースとした全員経営の実現に取り組み、優れた先見性と強力なリーダーシップの下、当社グループは事業を成長させながら、「ブランド開発カンパニー」へと進化してまいりました。JAPANブランドを世界に発信し、今後の当社グループのさらなる成長に貢献できるとの判断から、取締役として再任をお願いするものです。

略歴並びに当社における地位及び担当

1989年 4 月	愛知商工株式会社入社	2017年11月	愛姆緹姫股份有限公司（略称：MTG台湾）代表公司負責人就任（現任）
1993年 4 月	株式会社ヤマヒサ入社		
1998年 6 月	エコテックス東海創業	2018年 6 月	MTG FRANCE SAS（略称：MTG FRANCE）President就任（現任）
2004年12月	当社入社		
2007年12月	当社取締役就任		
2013年12月	当社常務取締役就任（現任）	2018年 7 月	MTG UK CO.LTD.（略称：MTG UK）Director就任（現任）
2017年 7 月	MTG KOREA Co.,Ltd（略称：MTG KOREA）代表理事就任		

●グローバルブランド事業本部担当

重要な兼職の状況

愛姆緹姫股份有限公司（略称：MTG台湾）代表公司負責人
MTG FRANCE SAS（略称：MTG FRANCE）President
MTG UK CO.LTD.（略称：MTG UK）Director

取締役候補者とした理由

中島敬三氏は、当社のグローバルブランド事業本部を担当し、事業展開国の拡大及び海外の重要パートナーとの事業提携を推進し、海外事業の業績を飛躍的に伸長させてまいりました。また、当社の主要ブランドであるMDNA SKINブランドの立上げにも参画しております。これまでの知見、経験及び実績をふまえ、今後の当社グループのさらなる成長に貢献できるとの判断から、取締役として再任をお願いするものです。

もとしま はじめ
本島 一
(1976年1月20日生)



再任

所有する当社の株式数
24,000株

略歴並びに当社における地位及び担当

1996年 4 月 株式会社ロイヤル入社
1997年 4 月 株式会社光通信入社
1998年 4 月 株式会社ジェイ・コミュニケーション入社
2001年 4 月 株式会社フォーサイス設立 代表取締役就任
2013年 6 月 当社取締役就任 (現任)

●ダイレクトマーケティング事業本部担当

重要な兼職の状況

重要な兼職はありません。

取締役候補者とした理由

本島一氏は、当社のダイレクトマーケティング事業本部を担当し、収益拡大のためのCRMの構築や最新テクノロジーの積極導入を行い、国内のEC事業の業績を大きく伸長させてまいりました。また、国内だけでなく、越境EC事業や英国でのEC事業の立上げを行っております。これまでの知見、経験及び実績をふまえ、今後の当社グループのさらなる成長に貢献できるとの判断から、取締役として再任をお願いするものです。

いのうえ ゆうすけ
井上 祐介
(1966年1月16日生)



再任

所有する当社の株式数
24,000株

略歴並びに当社における地位及び担当

1987年 3 月	グランドウエア株式会社入社	1998年 8 月	プレスト株式会社 代表取締役就任
1989年 6 月	プレスト株式会社設立 取締役就任	2011年 4 月	株式会社アンドライブ (現株式会社MTGプロフェッショナル) 設立 代表取締役就任 (現任)
1994年 5 月	株式会社プレックス (現株式会社フェニックス) 設立 代表取締役就任		
1998年 8 月	日本トレードオーシャン株式会社 (現株式会社サージック) 設立 代表取締役就任	2014年 1 月	当社入社 執行役員就任
		2015年12月	当社取締役就任 (現任)

●プロフェッショナル事業本部担当

重要な兼職の状況

株式会社MTGプロフェッショナル 代表取締役

取締役候補者とした理由

井上祐介氏は、当社のプロフェッショナル事業本部を担当し、対面販売事業の経営経験を活かし、美容室及びエステティックサロンの取引数を拡大し、担当する事業の業績を大きく伸長させてまいりました。2017年には職域販売事業を立上げております。これまでの知見、経験及び実績をふまえ、今後の当社グループのさらなる成長に貢献できるとの判断から、取締役として再任をお願いするものです。

ながとも こうじ
長友 孝二
(1971年9月12日生)



再任

所有する当社の株式数
240,000株

略歴並びに当社における地位及び担当

1990年 4 月 日本電装株式会社 (現株式会社デンソー) 入社
1994年 6 月 有限会社河口電気入社
1997年 3 月 当社入社
2014年12月 当社取締役就任 (現任)

●企画開発本部担当

重要な兼職の状況

重要な兼職はありません。

取締役候補者とした理由

長友孝二氏は、当社の企画開発本部を担当し、ブランド及び商品全般の開発に携わり、当社グループのブランド開発の基盤を築くなど、モノ創りの分野での豊富な実績を有しております。特に、当社の主要ブランドであるSIXPADブランドにおいては、ブランドの立上げ及びIoT対応商品の開発を指揮しており、当社の業績を大きく伸長させてまいりました。これまでの知見、経験及び実績をふまえ、今後の当社グループのさらなる成長に貢献できるとの判断から、取締役として再任をお願いするものです。

かわしま みつたか
川嶋 光貴
(1971年4月18日生)



再任

所有する当社の株式数
240,000株

略歴並びに当社における地位及び担当

1996年 4 月 株式会社つるみ入社
1997年 4 月 当社入社
2001年10月 当社取締役就任
2003年12月 当社常務取締役就任
2014年12月 当社取締役就任 (現任)
2017年11月 株式会社MTGメディカル 代表取締役就任 (現任)

●生産統括本部担当

重要な兼職の状況

株式会社MTGメディカル 代表取締役

取締役候補者とした理由

川嶋光貴氏は、当社の生産統括本部を担当し、商品品質の向上、部材調達、商品製造及び物流等の生産に係る機能の統括を一貫して行っておりました。特に、当社グループの業績が拡大し生産量が急増する中、物流機能の内製化や顧客満足及び商品品質向上のためのテクニカルセンターの立上げ等を行い、当社グループの生産及び物流機能の強化において大きな実績をあげてまいりました。これまでの知見、経験及び実績をふまえ、今後の当社グループのさらなる成長に貢献できるとの判断から、取締役として再任をお願いするものです。

は せ が わ の り お
長谷川 徳男
(1962年11月16日生)



再 任

所有する当社の株式数
6,504株

略歴並びに当社における地位及び担当

1986年 4 月 株式会社INAX（現株式会社LIXIL）入社
2013年 1 月 当社入社
2017年 4 月 当社執行役員就任
2017年12月 当社取締役就任（現任）
●法務知的財産本部担当

重要な兼職の状況

重要な兼職はありません。

取締役候補者とした理由

長谷川徳男氏は、当社の法務知的財産本部を担当し、特許及び意匠などあらゆる知的財産分野に造詣が深く、その知見及び経験をもって当社グループの模倣品対応を行っており、更なるグローバル展開を進める当社グループにおいての知的財産戦略において大きな実績をあげてまいりました。これまでの知見、経験及び実績をふまえ、今後の当社グループのさらなる成長に貢献できるとの判断から、取締役として再任をお願いするものです。

く ぜ こ う じ
久世 浩司
(1972年1月21日生)



新 任

所有する当社の株式数
15,600株

略歴並びに当社における地位及び担当

1994年 4 月 プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社入社
2010年 6 月 ポジティブサイコロジースクール創業
2012年 3 月 株式会社ポジティブサイコロジースクール設立
代表取締役就任（現任）
2016年10月 当社執行役員就任（現任）
●経営企画室担当

重要な兼職の状況

株式会社ポジティブサイコロジースクール 代表取締役

取締役候補者とした理由

久世浩司氏は、中国を中心としたReFaブランドの売上拡大及びMDNA SKINブランドの米国ローンチを通じて当社グループの主要ブランドのグローバル化を牽引してまいりました。また、グループ会社であるMTG USA, INC.の立上げを率いるなど海外事業で実績をあげてまいりました。現在は、当社の経営企画室を担当し、上場前後のIRに従事してまいりました。これまでの知見、経験及び実績をふまえ、今後の当社グループのさらなる成長に貢献できるとの判断から、取締役候補者として新たに選任をお願いするものです。

第2号
議 案

監査等委員である取締役3名選任の件

監査等委員である取締役全員（3名）は、本総会終結の時をもって任期満了となります。

つきましては、監査等委員である取締役3名の選任をお願い致したいと存じます。なお、本議案に関しましては、監査等委員会の同意を得ております。

監査等委員である取締役候補者は、次のとおりであります。

候補者番号	氏 名	現在の当社における地位等	候補者属性
1	ごとう ひろし 後藤 博	取締役（常勤監査等委員）	再 任 社 外 独 立
2	なかはま あけみつ 中浜 明光	取締役（監査等委員）	再 任 社 外 独 立
3	かみ や しゅんいち 神谷 俊一	取締役（監査等委員）	再 任 社 外 独 立

ご とう ひろし
後藤 博
(1948年12月9日生)



再 任

社 外

独 立

所有する当社の株式数
3,600株

略歴並びに当社における地位及び担当

1972年 4 月 トヨタ自動車工業株式会社（現トヨタ自動車株式会社）入社
2000年 2 月 愛知製鋼株式会社入社
2001年 6 月 同社取締役就任
2005年 6 月 同社常務取締役就任
2008年 6 月 同社専務取締役就任
2009年 6 月 同社常勤監査役就任
2015年 7 月 当社常勤監査役就任
2017年 3 月 当社社外取締役（常勤監査等委員）就任（現任）

重要な兼職の状況

重要な兼職はありません。

監査等委員である社外取締役候補者とした理由

後藤博氏は、製造業の国際展開の進展段階で、グローバルに現地法人の経営管理に携わった経験が豊富なこと、また、コーポレートガバナンスの実践に相当程度の経験があり、当社の監査等委員である取締役として、取締役会の機能強化に貢献してまいりました。上記の理由から、今後も職務を適切に遂行していただけると判断し、監査等委員である社外取締役として再任をお願いするものであります。社外取締役在任年数：1年9ヶ月（本総会終結時）
監査等委員である取締役在任年数：1年9ヶ月（本総会終結時）

なか はま あけ みつ
中浜 明光
(1948年11月5日生)



再任 社外 独立
所有する当社の株式数
-株

略歴並びに当社における地位及び担当

1971年 4 月 監査法人丸の内会計事務所
(現有限責任監査法人トーマツ) 入所
1974年 9 月 公認会計士登録
1982年 6 月 同所社員就任
2014年 1 月 中浜明光公認会計士事務所
開設 所長 (現任)
2014年 4 月 株式会社スーパーアプリ
社外監査役就任
AZAPA株式会社
社外監査役就任
2014年 5 月 株式会社安江工務店
社外監査役就任
2014年 8 月 ミタチ産業株式会社
社外監査役就任
2015年 8 月 同社
社外取締役就任 (現任)

2015年 9 月 当社社外監査役就任
2015年11月 バイザー株式会社
社外監査役就任
2016年 1 月 トビラシシステムズ株式会社
社外監査役就任
2016年 3 月 株式会社安江工務店
社外取締役就任 (現任)
2016年 9 月 AZAPA株式会社
社外取締役就任 (現任)
2017年 3 月 当社社外取締役 (監査等委員)
就任 (現任)
2017年 5 月 株式会社コメダホールディングス
社外取締役就任 (現任)
2017年 5 月 株式会社コメダ監査役就任 (現任)
2018年 1 月 トビラシシステムズ株式会社
社外取締役就任 (現任)

重要な兼職の状況

中浜明光公認会計士事務所 所長
ミタチ産業株式会社 社外取締役
トビラシシステムズ株式会社 社外取締役
株式会社安江工務店 社外取締役

AZAPA株式会社 社外取締役
株式会社コメダホールディングス 社外取締役
株式会社コメダ 監査役

監査等委員である社外取締役候補者とした理由

中浜明光氏は、公認会計士の資格を有しており、監査法人における長年にわたる豊富な経験から、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。また、当社の他にも社外役員としての経験を有しており、当社の監査等委員である取締役として、取締役会の機能強化に貢献してまいりました。候補者は、直接に企業経営に関与された経験はありませんが、上記の理由から、今後も職務を適切に遂行していただけると判断し、監査等委員である社外取締役として再任をお願いするものであります。
社外取締役在任年数：1年9ヶ月 (本総会終結時)
監査等委員である取締役在任年数：1年9ヶ月 (本総会終結時)

か み や しゅん い ち
神谷 俊一
(1972年8月2日生)



再任 社外 独立
所有する当社の株式数
-株

略歴並びに当社における地位及び担当

1996年 4 月 野村證券株式会社入社
2002年10月 弁護士登録
濱田松本法律事務所 (現森・濱田松本法律事務所) 入所
2012年 7 月 弁護士法人漆間総合法律事務所開設 (現任)
2015年 6 月 株式会社サガミチェーン (現株式会社サガミホールディングス)
社外監査役就任 (現任)
2015年 8 月 株式会社リプライス社外監査役就任
2017年 3 月 当社社外取締役 (監査等委員) 就任 (現任)
2018年 3 月 株式会社中外社外監査役就任 (現任)

重要な兼職の状況

弁護士法人漆間総合法律事務所 所属弁護士
株式会社サガミホールディングス 社外監査役
株式会社中外 社外監査役

監査等委員である社外取締役候補者とした理由

神谷俊一氏は、弁護士の資格を有しており、法律事務所における長年にわたる豊富な経験から、企業法務全般に関する相当程度の知見を有しております。また、当社の他にも社外役員としての経験を有しており、当社の監査等委員である取締役として、取締役会の機能強化に貢献してまいりました。候補者は、直接に企業経営に関与された経験はありませんが、上記の理由から、今後も職務を適切に遂行していただけると判断し、監査等委員である社外取締役として再任をお願いするものであります。
社外取締役在任年数：1年9ヶ月 (本総会終結時)
監査等委員である取締役在任年数：1年9ヶ月 (本総会終結時)

- (注) 1. 各候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。
2. 後藤博氏、中浜明光氏及び神谷俊一氏は、社外取締役候補者であります。
3. 当社は、後藤博氏、中浜明光氏及び神谷俊一氏との間で会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。後藤博氏、中浜明光氏及び神谷俊一氏の選任が承認された場合、当該契約を継続する予定であります。なお、当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、同法第425条第1項に定める額としております。
4. 当社は、後藤博氏、中浜明光氏及び神谷俊一氏が東京証券取引所の定めに基づく独立役員の要件を満たしているため、独立役員として同取引所へ届け出ております。

以 上



Style



TRAINING GEAR
SIXPAD



MDNA
SKIN



FACIAL FITNESS
PAO



We have many dreams MTG

私たちは、ブランド開発 カンパニー MTG です。

ReFa

MDNA
SKIN

TRAINING GEAR
SIXPAD

Kirala

ReFa
ACTIVE

PLOSION
de salon

Style

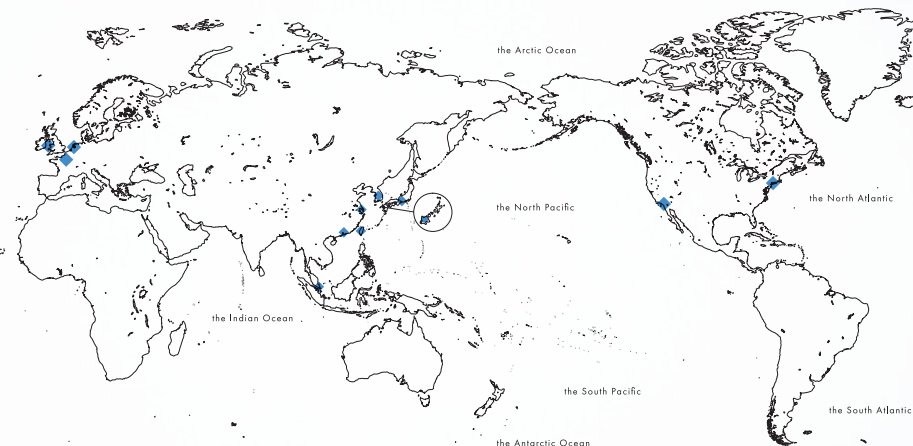
FACIAL FITNESS
PAO

INBEAUTE

Obleu.

Dreamin

TAIKAN STREAM



ReFa



Kirala
WATER + SERVER



ReFa

『ReFa』は「眠れる生命美の覚醒」をブランドコンセプトに掲げ、50を超える美容機器、化粧品、ドリンクを展開するUNITED BEAUTYブランドです。



当期は、美容ローラーとカッサ美容を融合した「リファカッサレイ」を発売しました。ローラーに次ぐ第二の柱として成長しています。また、初のベースメイク商品やシャワーヘッドなど、今までにない商品の展開を行いました。『ReFa』は様々なシーンにおける革新的な美の提案をし続けるオムニビューティーブランドとして、多くの女性が美容をもっと自由に楽しむことができる社会の実現を目指していきます。

TOPICS

累計出荷数1,000万本達成



2018年7月末、『ReFa』は累計出荷数1,000万本を達成しました。

※ReFaシリーズ美容機器累計出荷本数。
2009年2月～2018年7月末実績

新商品「リファカッサレイ」発売



筋膜に着目した新発想の美容機器「リファカッサレイ」を発売しました。

中国プロモーション強化



アリババと連携し、中国内プロモーションを強化しました。

MDNA

SKIN

『MDNA SKIN』は世界的な美のアイコン・マドンナを共同開発パートナーに迎え、豊かな自然素材をもつイタリア・モンテカティーニ、独自の技術開発を行うMTGの融合から誕生したスキンケアブランドです。



当期は、より多くの女性に美しさを提供していくために、新たな商品を展開しました。美容ローラーの「オニキスブラック」や磁力でクレイを取り去る「マスキリムーバー」、オールインワンクリーム「ザリインベンションクリーム」を発売。中国、韓国、アメリカにも展開を拡げ、今後も世界に向けて『MDNA SKIN』の価値を発信していきます。

TOPICS

バーニーズニューヨークビバリーヒルズ店
ストアイベント



マドンナを招いたイベントをアメリカ・ロサンゼルスで開催しました。多くのお客様が詰めかけ、終始熱狂に包まれました。

キム・カーダシアンとの
頂上ビューティー対談



マドンナとキム・カーダシヤンの対談が実現。2人のビューティートークは動画配信もされ、多くの方々の注目を集めました。

TRAINING GEAR SIXPAD

『SIXPAD』は、京都大学名誉教授 森谷敏夫氏のEMS理論、MTGが開発した独自波形、クリスティアーノ・ロナウド選手のトレーニングメソッドを融合させたEMSTレーニング・ギアです。



当期は、『SIXPAD』ブランド初の会員制サービスとなる近未来型EMSTレーニング・ジム「SIXPAD STATION」一号店が東京代官山にオープンしました。全身9部位18か所に電極が配置されたEMSフルボディスーツに身を包み、デジタルトレーニングミラーを通してEMSと動作を融合させたトレーニングプログラムを行います。これにより、わずか15分間で効率的な全身同時トレーニングが可能になりました。

8月には女優の菜々緒さんをお呼びし、プレミアムレセプションを開催。中国での展開に向け、海外パートナーとの調印式も行いました。

TOPICS

ISEK開催



電気生理運動に関する国際学会（ISEK）で、骨格筋電気刺激について、研究成果を発表し、技術認知に貢献しました。

UKローンチ



欧州最大のショッピングモールWestfield Londonにヨーロッパ第一号店となる『SIXPAD』旗艦店をオープンしました。

新商品イベント



世界的プロボクサー、マニー・パッキャオ選手をお呼びし、「シックスパッド フットフィット」の新製品発表会を行いました。

EVIDENCE

「ブランド開発カンパニー」MTGは世界基準の“本物”を追求するため、それを裏付けるエビデンス構築に注力しています。ご協力いただいている先生方並びにMTGとの取り組みをご紹介します。

森谷 敏夫

京都大学名誉教授
株式会社運動医科学研究所 所長



運動生理学の世界的な権威で、発表した論文は、200本以上。著書多数。専門は応用生理学とスポーツ医学で、生活習慣病の温床になる肥満のメカニズムに関する研究や運動ができない人々のための骨格筋電気刺激研究などを精力的に進めています。

40年以上も骨格筋電気刺激の研究を行っており、MTGでは電気刺激が生体に及ぼす影響の基礎研究から、応用研究、さらには電気刺激の啓蒙活動と幅広くご尽力いただいています。得られた研究成果は国内外で学術発表をしながら、次なる骨格筋電気刺激装置の企画開発に役立てています。

川島 眞

東京女子医科大学名誉教授
医療法人社団ウェルエイジング総院長
日本コスメティック協会理事長



日本の皮膚科学、美容皮膚科学、化粧品学のトップリーダー。アトピー性皮膚炎、ニキビ、皮膚ウイルス感染症などの治療法の確立や、機能性化粧品の創生に貢献しており、英文350編を含む1,000編を超える論文を発表しています。

その「肌」に関する幅広い知見を生かして、MTGでは『MDNA SKIN』ブランドの「リジュビネーターセット」に関する有用性評価をはじめ、新規化粧品・美容機器の研究・開発においての皮膚科学の権威としてのアドバイスをいただき、革新的かつ安全なスキンケア商品の創出にご尽力いただいています。

阿久根 英昭

桜美林大学
健康福祉学群 特任教授



足裏の形状や働きと運動能力や健康状態の関心に注目し、足の健康科学、足とスポーツ傷害、高齢者の転倒と予防、履物と健康、足の歪みと身体の障害などをテーマとして40年にも渡り、足の研究に携わっています。さらには「足の健康科学」の権威としてテレビ・雑誌等のメディアでも活躍しており、「足力」を向上させる様々な健康法の提唱により、注目を浴びています。

MTGでは、主に「シックスパッド フットフィット」等で、足裏の筋についての技術相談を中心にご協力をいただき、商品の企画開発、理論構築に活かしています。

林 直亨

東京工業大学リベラルアーツ研究教育院
環境・社会理工学院 社会・人間科学系 教授



運動時の眼底血流の変化や、マッサージや食事に伴う顔面血流に関する研究を進めています。「レーザースペックル法」という新規的な手法を用いて血流を観察し、人々の健康の維持・増進に役立つ要因を追求しています。

MTGでは、『ReFa』ブランドにおいて、ローラーでのマッサージによる顔面血流、眼底血流、人種による差の評価や血流、血管への反応性を探索しています。形状、素材、人種、使用速度、使用角度等の変化により、血流動態の違いを観察することで、商品の仕様や企画を決定し、開発に活かしていきます。

1 企業集団の現況

(1) 当連結会計年度の事業の状況

① 事業の経過及び成果

当連結会計年度における我が国経済は、政府の景気対策等の効果もあり緩やかな景気回復基調で推移したものの、海外では地政学的リスクが顕在化するなどの影響が見られました。

このような状況の中で、当社グループは「ブランド開発カンパニー」として「クリエイション」「テクノロジー」「ブランディング」「マーケティング」の4つの軸を融合した事業ビジョンに基づき、世界中の人々の人生をより美しく、より健康的に輝かせるためのBEAUTY・WELLNESSをテーマにしたブランド及び商品の開発を行っており、積極的な新商品開発、マーケティング、当社技術の研究発表、市場開拓、海外展開及び事業提携を進めてまいりました。

ReFaブランドでは、2017年11月に新商品「ReFa HOT CLEANSE CL」、2018年2月に新商品「ReFa MOISTURE SOAP CL」及び新商品「ReFa MOISTURE SERUM CL」、2018年5月に新商品「ReFa CAXA RAY」、2018年9月に新商品「ReFa FIZZ FOUNDATION」及び新商品「ReFa PROTECT POWDER」を発売致しました。また、日本の新規店舗の出店のみならずアジアにおいても出店を加速し、2018年8月には中国の「北京SKP」に出店を行いました。さらに、2018年6月に、フランス展開の本格化を目的に連結子会社MTG FRANCE SASを設立致しました。

海外市場への展開及び国内市場への強化により、2009年2月の発売開始以来、2018年7月までの期間のReFaブランド美容機器の累計出荷数が1,000万本を超えました。

MDNA SKINブランドでは、2017年10月に新商品「THE REINVENTION CREAM」、2017年11月に新商品「ONYX BLACK」及び2018年1月に新商品「MASK REMOVER」を全国のMDNA SKINカウンター及び当社ECサイトにて発売致しました。2018年3月に米国のBarneys New York Beverly Hills店にてマドンナ氏とのイベントを開催し、またYouTube Studio主催のイベントにおいて、マドンナ氏とキム・カーダシアン氏とのコラボイベントを開催致しました。中国においては、百貨店カウンターを続々オープンし、2018年3月には「上海伊勢丹」、「杭州銀泰」及び「南京金鷹」、2018年4月に「西安SKP」、韓国においては、2018年4月には仁川空港及びロッテ百貨店にそれぞれ出店致しました。さらに、

2018年6月に、フランス展開の本格化を目的に連結子会社MTG FRANCE SASを設立致しました。

SIXPADブランドでは、2018年7月に新商品「SIXPAD Training Suit Long Sleeve Top」、「SIXPAD Training Suit Short Sleeve Top」及び「SIXPAD Burning Shot」を同時に発売致しました。

2017年11月に「プライムツリー赤池」、2017年12月に「グランツリー武蔵小杉」及び2018年9月に「ららぽーと名古屋みなとアクルス」でSIXPADブランドの直営専門店をオープン致しました。また、2018年3月に国内2号店となる旗艦店「SIXPAD STORE TOKYO MIDTOWN HIBIYA」を大型複合施設「東京ミッドタウン日比谷」内に店舗致しました。

2018年6月にはアイルランドで開催された国際電気生理運動学会「ISEK」にて研究成果を発表し、SIXPADの学術的認知に貢献しました。

新たにアスリートサポートパートナーとして、プロボクシングの元6階級制覇王者で、フィリピンの上院議員でもあるマニー・パッキャオ選手と2018年2月に契約を締結致しました。2018年9月にマニー・パッキャオ選手が来日し、同年10月発売の新商品「SIXPAD Foot Fit」及び当選手が出演した新TVCMの発表会を行いました。また、2018年8月にモデルで女優の菜々緒氏がSIXPADブランドパートナーに就任しました。

海外においては、2017年11月に中国上海の「上海METRO CITY」にて、SIXPADブランドの中国初の旗艦店「SIXPAD STORE 上海メトロシティ」をオープンし、水泳世界選手権で背泳ぎ金メダリストの徐嘉余（シュジャージュ）選手と新商品発売イベントを開催致しました。また、2018年2月にSIXPAD事業のイギリス展開の本格化を目的に連結子会社MTG UK CO.LTD.を設立し、2018年9月にイギリスにおいてショッピングモール「ウェストフィールド」に欧州初のSIXPADブランド旗艦店を出店致しました。

2018年7月に新たにSIXPAD STATIONをスタートし、国内一号店として「SIXPAD STATION 代官山」をオープンし、また同月にSIXPAD STATIONの初TVCMを放送し、当サービス及び当ブランド全体の認知度向上を図りました。さらに、当サービスの世界展開において、中国の太陽昇医薬グループとパートナーシップを組み、韓国のKOREA TECH及び香港のSHLABと連携し、アジア事業開拓の起点としてスタート致しました。

Styleブランドでは、2017年10月に新商品「Style BX」、2018年3月に新商品「Style Dr.CHAIR Plus」及び2018年5月に新商品「Style MEDICAL PRO」を発売致しました。また、2017年11月に「プライム

ツリー赤池」、2017年12月に「グランツリー武蔵小杉」及び2018年9月に「ららぽーと名古屋みなとアクルス」でStyleブランドの直営専門店をオープン致しました。海外においては、2017年11月に中国上海の「上海METRO CITY」にて、Styleブランドの中国初の旗艦店「Style 上海メトロシティ」をオープン致しました。

海外市場への展開及び国内市場への強化により、2014年5月の発売開始以来、2018年8月までの期間のStyleブランドの累計出荷台数が200万台を超えました。

PAOブランドでは、継続したTVCMの放映や国内のTV番組に取り上げられたことにより、ブランドの露出回数が増加致しました。また、韓国販売代理店のPAOブランドアンバサダーに、アーティストであるPSY（サイ）氏が就任致しました。当アーティスト出演の動画を公開したことにより、アジア地区における顧客への認知度向上に繋がりました。

Kiralaブランドでは、2017年10月に「ロフト名古屋」、2017年11月に「プライムツリー赤池」、2017年12月に「グランツリー武蔵小杉」及び2018年9月に「ららぽーと名古屋みなとアクルス」でKiralaブランドの直営専門店をオープン致しました。また、2018年4月に東京拠点を開設し、さらに関西においても多数の展示会に出展し、家族客を中心にKiralaブランドの認知度向上に努めました。

TAIKAN STREAMブランドでは、日本スポーツ用品実行委員会が主催する「日本スポーツ用品大賞2017」を受賞致しました。

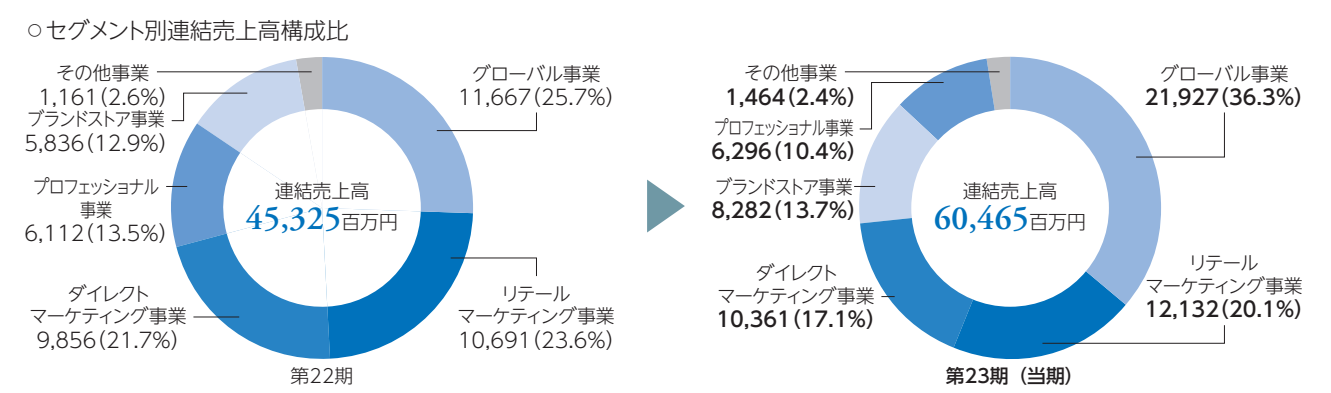
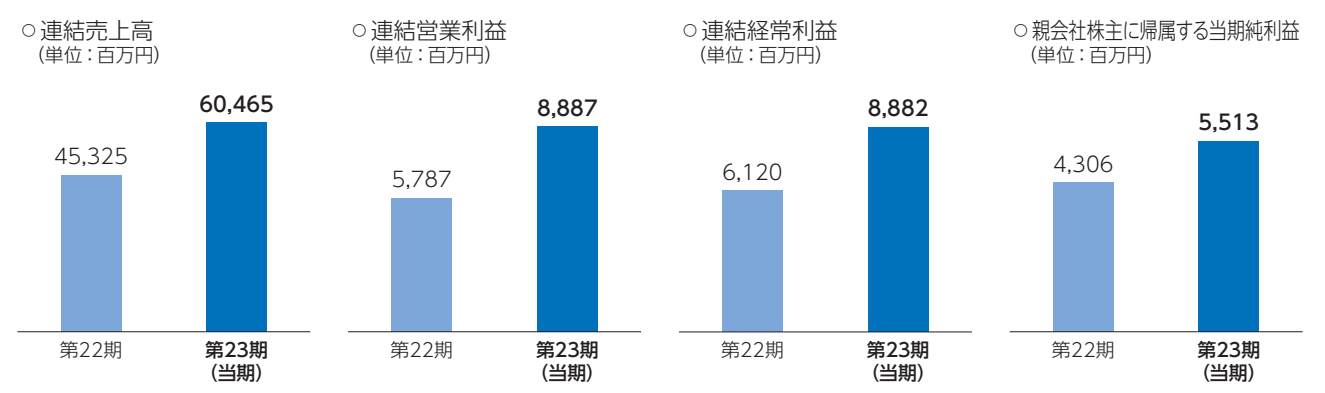
その他、2017年11月にM&Aを実施し、ミチノ製薬株式会社（現株式会社MTGメディカル）の株式を100%取得致しました。当子会社は第二種医療機器製造販売業及び第二種医薬品製造販売業の許可を有しており、当社グループの今後の事業展開に寄与する予定です。

また、事業の急成長に伴う従業員増加と規模拡大のため、本社新社屋用建設予定地として、すでに愛知県名古屋市熱田区に位置する16,298.30㎡の土地を取得しておりましたが、2017年10月にその隣に位置する5,415.77㎡の土地を追加取得致しました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は60,465百万円（前期比33.4%増）となりました。また、営業利益は8,887百万円（前期比53.5%増）、経常利益は8,882百万円（前期比45.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は5,513百万円（前期比28.0%増）となりました。

当事業年度の期末配当金につきましては、2018年11月13日開催の臨時取締役会におきまして、日頃の株主の皆様のご支援にお応えするべく、1株当たり1円61銭とさせていただきます。

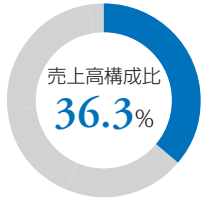
<ご参考>



グローバル事業

連結売上高 219億27百万円（前期比87.9%増）

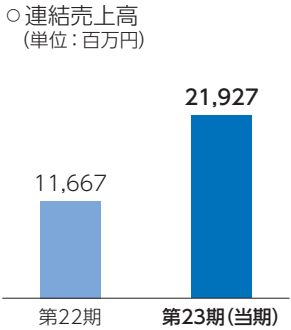
主な事業内容 海外グループ会社ECサイト及び海外のインターネット通信販売事業者の運営するECサイトを通じた一般消費者への直接販売、並びに海外のインターネット通信販売事業者、海外の販売代理事業者、海外の美容専門店及び海外の百貨店運営事業者への卸売販売となります。



当連結会計年度の売上高は21,927百万円（前期比87.9%増）、経常利益は4,289百万円（前期比156.8%増）となりました。

中国においては上海伊勢丹、杭州銀泰及び南京金鷹、シンガポールにおいてはCK TANGS、香港においてはThe Faces、韓国においては仁川空港及びロッテ百貨店、イギリスにおいてはショッピングモール「ウェストフィールド」、グローバルトラベルリテール事業（海外空港の免税店への卸売販売事業）においては中国海南島の三亜鳳凰空港、グアム空港、シンガポールのチャンギ空港及び香港空港に新店舗を出店致しました。また、欧州展開の拠点として、2018年2月にSIXPADブランドのイギリス展開を目的にイギリスに連結子会社MTG UK CO.LTD.を設立し、2018年3月に欧州における子会社統括及び物流機能を持つ欧州統括会社としてオランダに連結子会社MTG EUROPE B.V.を設立し、2018年6月にはReFaブランド及びMDNA SKINブランドのフランス展開を目的にフランスに連結子会社MTG FRANCE SASを設立しております。

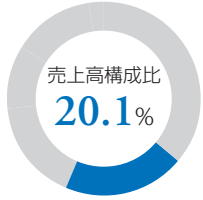
さらに、SIXPAD STATION（EMSTレーニング・ジム）の世界展開において、中国の太陽昇医薬グループとパートナーシップを組み、また韓国のKOREA TECH及び香港のSHLABと連携し、アジア事業開拓の起点としてスタート致しました。



リテールマーケティング事業

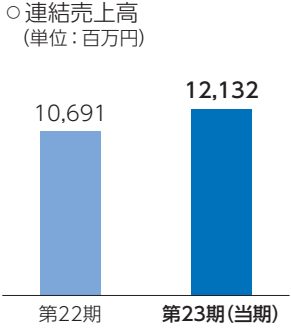
連結売上高 121億32百万円（前期比13.5%増）

主な事業内容 量販店運営事業者への卸売販売及びカタログ販売並びにテレビ通信販売事業者への卸売販売となります。



当連結会計年度の売上高は12,132百万円（前期比13.5%増）、経常利益は3,838百万円（前期比19.2%増）となりました。

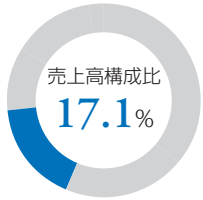
SIXPADブランドのIN SHOP事業（店舗の売場に、自社で独立した店舗形態の売場を設置し販売する形態）は、当連結会計年度に28店舗の出店を行いました。また、一部家電量販店において什器刷新、既存店舗の運営及び接客を改善し、顧客満足の向上並びに店舗売上高が増加致しました。さらにカタログ販売やテレビの通販事業においては、多くの紙面枠及び放送枠の獲得に注力致しました。



ダイレクトマーケティング事業

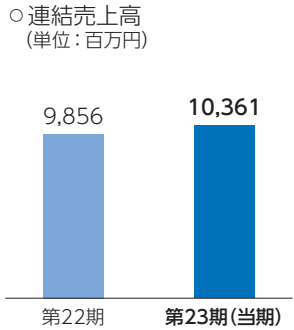
連結売上高 103億61百万円（前期比5.1%増）

主な事業内容 当社及び国内他社ECサイトを通じた一般消費者への直接販売及びインターネット通信販売事業者への卸売販売となります。



当連結会計年度の売上高は10,361百万円（前期比5.1%増）、経常利益は4,644百万円（前期比39.3%増）となりました。

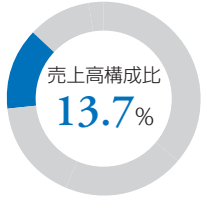
ReFaブランド、MDNA SKINブランド及びStyleブランドでは、新商品の発売により売上高が好調に推移致しました。また、当社ECサイトが「YAHOO ショッピング Best Store Awards 2017」においてダイエット・健康部門で第1位を受賞し、「Rakuten SHOP OF THE YEAR 2017」を4年連続受賞し、「Wowma! BEST SHOP AWARD 2017」においてダイエット・健康カテゴリ賞を2年連続で受賞致しました。さらに、2018年7月に当社ECサイトにおいて、8周年記念キャンペーンを開催し、さらなる認知度の拡大と売上高の増加を図りました。



ブランドストア事業

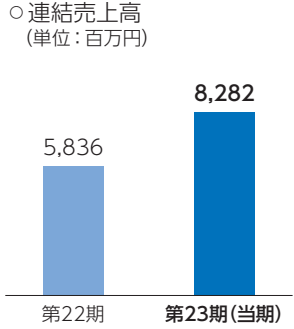
連結売上高 82億82百万円（前期比41.9%増）

主な事業内容 百貨店運営事業者並びに免税店運営事業者への卸売販売及び当社運営の小売店舗での対面販売を通じた一般消費者への直接販売となります。



当連結会計年度の売上高は8,282百万円（前期比41.9%増）、経常利益は1,648百万円（前期比185.5%増）となりました。

ReFaブランド、MDNA SKINブランド、SIXPADブランド及びStyleブランドの4ブランドにおいて、百貨店20店舗、免税店4店舗、直営専門店10店舗の計34店舗を新規オープンし、当社商品のブランド価値を直接お客様にお伝えし、認知度の向上を図りました。

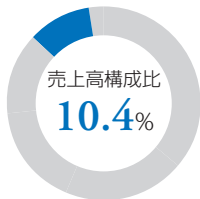


プロフェッショナル事業

連結売上高 **62億96**百万円（前期比**3.0**%増）

主な事業内容

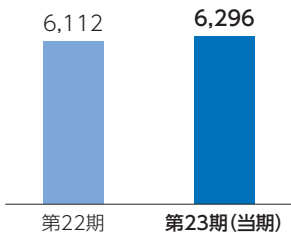
美容サロン運営事業者への卸売販売、エステティックサロン運営事業者への卸売販売及びフィットネスクラブ運営事業者と提携している販売代理事業者への卸売販売、提携企業での職域販売（社員への直接販売）並びにフィットネスクラブでの一般消費者への直接販売となります。



当連結会計年度の売上高は6,296百万円（前期比3.0%増）、経常利益は994百万円（前期比21.3%減）となりました。

2017年10月に札幌支店、2018年4月に金沢支店をオープンし、引き続き地域密着のサービスを展開し顧客満足度の向上を図りました。また、全国サロン商談会を238回開催し、既存顧客への新事業提案により売上拡大に注力致しました。さらに、2017年10月開催の「ビューティーワールドジャパン2017 ジャパンウェスト」、2018年2月開催の「ビューティーワールドジャパン福岡」及び2018年5月開催の「ビューティーワールドジャパン東京」に出展し、新規サロン開拓（契約）と当社の認知度のさらなる向上を図りました。

○連結売上高
(単位：百万円)

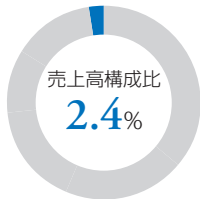


その他事業

連結売上高 **14億64**百万円（前期比**26.1**%増）

主な事業内容

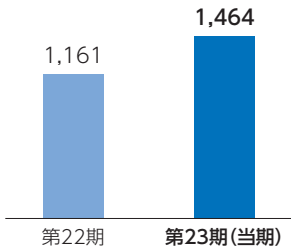
ウォーターサーバー事業、EV事業、中古自動車販売事業、SIXPAD STATION事業、スマートリング（近距離無線通信を搭載した指に装着するリング）の製造販売を行うIoT事業及びOEM事業となります。



当連結会計年度の売上高は1,464百万円（前期比26.1%増）、経常損失は2,029百万円（前期は976百万円の経常損失）となりました。

ウォーターサーバー事業においては、2017年10月に「ロフト名古屋」、2017年11月に「プライムツリー赤池」、2017年12月に「グランツリー武蔵小杉」、2018年9月に「ららぽーと名古屋みなとアクルス」でKiralaブランドの直営専門点をオープン致しました。また、2018年4月に東京拠点を開設し、さらに関西においても多数の展示会に出展し家族客を中心にKiralaブランドの認知度向上を図り販売エリアを拡大致しました。Kirala1周年記念イベントとして浅田真央サンクスツアーに協賛し、8月にはKiralaユーザーをお招きした「キララ × 浅田真央 スペシャルアイスショー」を中京大学豊田キャンパスアイスアリーナで開催致しました。なお、2018年3月をもって2WAY（ウォーターボトルを採用し、空きボトルを回収する）モデルを終了致しました。

○連結売上高
(単位：百万円)



② 設備投資の状況

当連結会計年度において実施致しました当社グループの設備投資の総額は5,232百万円であります。その主な内訳は、事業成長に伴う規模拡大と従業員増加のための本社新社屋建設用土地の追加取得（3,728百万円）及び製品製造に係る金型の購入（377百万円）であります。

③ 資金調達の状況

当連結会計年度において、当社グループは2018年7月9日付の公募増資により、5,045,000株の新株を発行し、27,359百万円の資金調達を行いました。

2018年7月9日付の自己株式の処分により、855,000株の自己株式を売出し、4,636百万円の資金調達を行いました。

2018年8月7日付の第三者割当増資により、1,035,000株の新株を発行し、5,612百万円の資金調達を行いました。

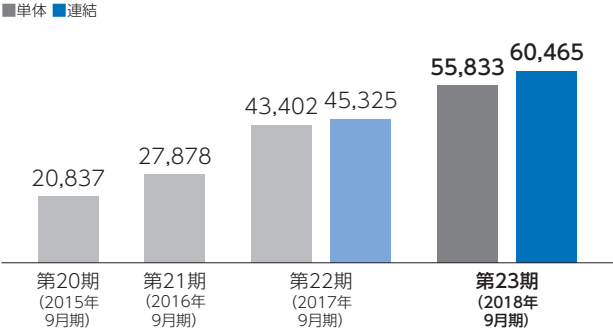
④ 他の会社の株式その他の持分又は新株予約権等の取得又は処分の状況

当社は、2017年11月にミチノ製薬株式会社（現株式会社MTGメディカル）の全株式を取得し、連結子会社と致しました。

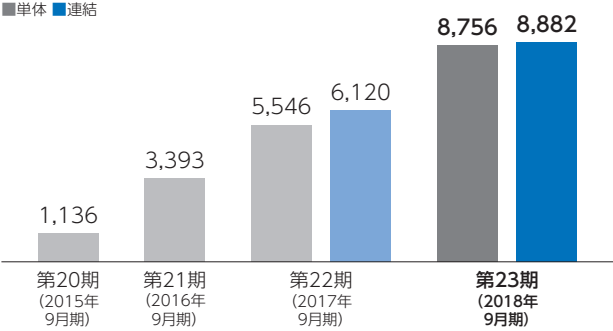
また、当社は、2018年1月に株式会社MTG modeliste、2018年2月にMTG UK CO.LTD.、2018年3月にMTG EUROPE B.V.及び2018年6月にMTG FRANCE SASを、それぞれ100%出資子会社として新規設立しております。

(2) 財産及び損益の状況

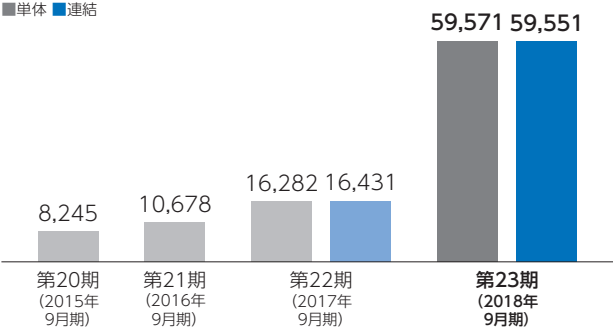
○売上高 (単位: 百万円)



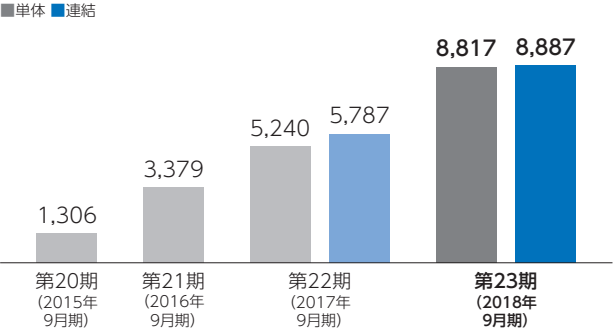
○経常利益 (単位: 百万円)



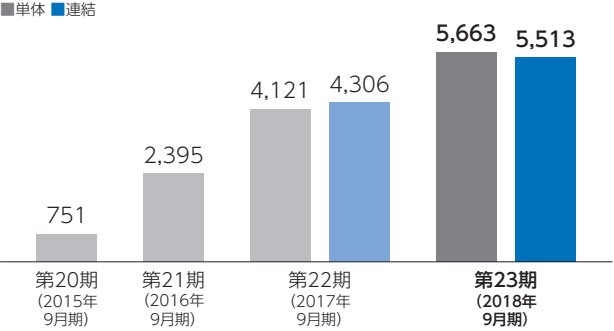
○純資産 (単位: 百万円)



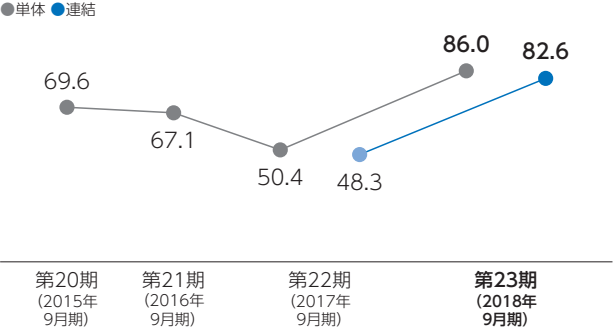
○営業利益 (単位: 百万円)



○当期純利益／親会社株主に帰属する当期純利益 (単位: 百万円)



○自己資本比率 (単位: %)



① 企業集団の財産及び損益の状況

区 分	第20期 (2015年9月期)	第21期 (2016年9月期)	第22期 (2017年9月期)	第23期 (当連結会計年度) (2018年9月期)
売上高 (百万円)	—	29,480	45,325	60,465
前期比	—	—	53.7%	33.4%
経常利益 (百万円)	—	3,494	6,120	8,882
経常利益率	—	11.9%	13.5%	14.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	—	2,421	4,306	5,513
当期純利益率	—	8.2%	9.5%	9.1%
1株当たり当期純利益 (円)	—	75.76	134.41	161.03
総資産 (百万円)	—	16,474	34,026	72,122
純資産 (百万円)	—	10,607	16,431	59,551
1株当たり純資産 (円)	—	331.24	501.66	1,500.67

(注) 1.前連結会計年度より連結計算書類を作成しております。第21期については金融商品取引法に基づいて作成した連結財務諸表の数値を参考情報として記載しておりますが、第20期の状況は記載しておりません。
2.1株当たり当期純利益は、自己株式を控除した期中平均発行済株式総数により算出しており、また1株当たり純資産は、自己株式を控除した期末発行済株式総数により算出しております。
3.当社は、2016年7月16日付で株式1株につき200株及び2018年2月17日付で株式1株につき12株の株式分割を行っております。第21期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「1株当たり純資産」を算定しております。

② 当社の財産及び損益の状況

区 分	第20期 (2015年9月期)	第21期 (2016年9月期)	第22期 (2017年9月期)	第23期 (当事業年度) (2018年9月期)
売上高 (百万円)	20,837	27,878	43,402	55,833
前期比	136%	134%	156%	29%
経常利益 (百万円)	1,136	3,393	5,546	8,756
経常利益率	5.5%	12.2%	12.8%	15.7%
当期純利益 (百万円)	751	2,395	4,121	5,663
当期純利益率	3.6%	8.6%	9.5%	10.1%
1株当たり当期純利益 (円)	23.51	74.93	128.63	165.42
総資産 (百万円)	11,846	15,905	32,264	69,250
純資産 (百万円)	8,245	10,678	16,282	59,571
自己資本比率	69.6%	67.1%	50.4%	86.0%
1株当たり純資産 (円)	257.94	333.45	497.09	1,501.19

(注) 1.1株当たり当期純利益は、自己株式を控除した期中平均発行済株式総数により算出しており、また1株当たり純資産は、自己株式を控除した期末発行済株式総数により算出しております。
2.当社は、2016年7月16日付で株式1株につき200株及び2018年2月17日付で株式1株につき12株の株式分割を行っております。第20期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「1株当たり純資産」を算定しております。

(3) 重要な子会社の状況

名称	資本金	議決権の所有割合 又は被所有割合 (%)	主要な事業内容
(国内)			
株式会社ブレイズ	10百万円	100	自動車の販売、修理、損害保険代理店業
株式会社TWELVE	36百万円	100	スポーツ関連商品の企画・製造・販売
株式会社Bnext	25百万円	100	業務用美容機器の製造、販売
株式会社MTGプロフェッショナル	35百万円	100	美容機器・化粧品卸売業
株式会社サカモトクリエイト	5百万円	100	ミネラルウォーター等の飲料水の開発
株式会社ポジティブサイコロジースクール	1百万円	100	教育事業
株式会社MTGメディカル	15百万円	100	医薬品・医薬部外品、医療機器の販売
株式会社MTG modeliste	35百万円	100	百貨店、免税店及びMTG直営店での販売
(国外)			
愛姆緹姫（深圳）商貿有限公司 (略称：MTG深圳)	2,201千元	100	MTG協力パートナー会社への生産管理 等サービスの提供
愛姆緹姫（上海）商貿有限公司 (略称：MTG上海)	16,432千元	100	美容関連機器の販売
愛姆緹姫股份有限公司 (略称：MTG台湾)	15,000千台湾ドル	100	美容関連機器の販売
MTG PACIFIC PTE.LTD. (略称：MTGパシフィック)	550千シンガポールドル	100	美容関連機器の販売
MTG USA,INC. (略称：MTG USA)	3,155千USドル	100	美容機器・化粧品卸売業
MTG KOREA Co.,Ltd (略称：MTG KOREA)	2,000,000千ウォン	100	美容機器・化粧品卸売業
MCLEAR LIMITED (略称：マクレアUK)	0千ポンド	75	IoT事業
MTG UK CO.LTD. (略称：MTG UK)	1,896千ポンド	100	美容関連機器の販売
MTG EUROPE B.V. (略称：MTG EUROPE)	0千ユーロ	100	欧州事業の統括会社機能
MTG FRANCE SAS (略称：MTG FRANCE)	1,000千ユーロ	100	美容関連機器の販売

(注) 1.当社は、2017年11月にミチノ製薬株式会社（現株式会社MTGメディカル）の全株式を取得し、連結子会社と致しました。
2.当社は、2018年1月に株式会社MTG modeliste、2018年2月にMTG UK CO.LTD.、2018年3月にMTG EUROPE B.V.及び2018年6月にMTG FRANCE SASを、それぞれ100%出資子会社として新規設立しております。

(4) 対処すべき課題

当社グループは中長期的な成長を図るために、国内事業でのさらなる拡大に加えて海外展開の積極的な推進を行ってまいります。それらを実現するために、以下を主な経営課題として認識し、迅速に対応してまいります。

① MTGフィロソフィを根幹とした会社経営

当社グループは、「MTGフィロソフィ」を会社経営の根幹とし、役員及び従業員のみならず外部パートナーとの間の信頼関係が会社経営に係る全ての基本と捉えております。当社グループの今後の継続的な企業成長を実現するために、従業員数及び国内外の拠点数の増加を計画しており、当社グループのすみずみまで「MTGフィロソフィ」の浸透を確保し続けることが課題と認識しております。「MTGフィロソフィ」を浸透させる人材の育成を積極的に行い、今後の事業展開に備えてまいります。

② 経営システムの強化

当社グループは、今後の継続的な企業成長を実現するために、多数の経営者意識を持った人材の育成及びリアルタイムな経営数字に基づく迅速かつ高度な意思決定が必要となります。そのために、当社グループの経営システムであるグループ経営方式を進化させ、市場に直結した部門別採算制度、経営者意識を持つ人材の育成及びMTGフィロソフィをベースにした全員経営を実現させることが求められております。経営システムの進化に向けて、グループ経営方式の制度の確立及びITインフラに対して積極的な投資を行ってまいります。

③ 消費者ニーズの変化への対応

当社グループは、昨今のソーシャルメディアの普及による消費者ニーズの変化に適時適切に対応していくことが課題と認識しております。そのために、ブランド及び商品の開発に従事する従業員自身が経営者意識及び消費者のニーズを創り出す感覚をもってブランド及び商品の開発を行うことが不可欠となります。さらには、消費者ニーズの変化に対応するのではなく、消費者ニーズを当社グループから創り出すことを目指しております。また、当社グループは「新規ブランド及び商品を内部留保する」という考えのもと、ブランド及び商品の売れ行きが順調な時期に消費者ニーズの変化、他社の類似商品の発売及び模倣品の出現を見据えながら新規ブランド及び商品の開発を先行して行っております。

④ リピート顧客の獲得

当社グループは、安定した収益基盤を構築するために、当社グループが展開するブランド及び商品についてリピート顧客を獲得していくことが課題と認識しております。そのために当社グループとして、ブランドのシリーズ展開、商品ラインナップにおける消耗品の強化及び当該消耗品の定期購入施策の実施を行ってまいります。

⑤ 模倣品対策と知的財産権確保

当社グループは、「お客様を欺く模倣品の存在を許さない」を合言葉に、使命感を持ち徹底した模倣品への対策を行っております。グローバルで1,300件を超える件数の知的財産の権利化を実現しております。また、模倣品の販売や流通方法はインターネットの普及に伴い多様化が進み、対応には多くの困難が伴う状況ですが、当社グループは模倣品対策のための従業員を充実させており、韓国で模倣品販売業者に対し販売差止の仮処分申請の申し立て、中国で模倣品製造業者に対し中国の行政機関と連携して製造拠点の差し押さえ及び日本、韓国並びに中国で各国の警察機関と連携して模倣品の販売者並びに製造者を逮捕するという成果を上げております。

⑥ 徹底した品質向上

当社グループは、大手家電メーカー及び化粧品メーカーにて多様な経験をしたOBを招き「顧問会（※）」を設置しております。商品開発においては、顧問へ相談するだけでなく、顧問による審査を必須とする審査会制度を導入しています。これらの取組みにより高品質なものづくりを行っていますが、今後の海外展開を加速するために、より品質の高い商品を開発できる体制構築及び人材育成を行ってまいります。その取組みの一環として、量産を委託しているパートナー会社との連携強化のため、「パートナー協力会」を発足しております。（※）当社グループの「顧問会」における顧問とは、上場企業の役員経験者が役員引退後に会社から付与される顧問という一般的な肩書を指しているのではなく、当社グループにおいては「高度の専門知識と豊かな経験を踏まえ、技術、税務、財務、法務等の特定の分野について、会社に適切な助言を与える」ことを任務とし、「当社又は他社における取締役以上の経験者及び学識経験者等」であることを顧問の資格としております。また、任期は1年として、委嘱及び報酬について取締役会の決議事項としております。

⑦ カスタマーサービスの向上

当社グループは、カスタマーサービスの向上について、国内だけでなく海外においても企業ブランド、事業ブランド及び商品ブランドを高める上で課題と考えております。国内においては、カスタマーサービスセンターの新拠点を開設し、事業拡大に伴い増加する問い合わせや修理対応にスピーディーかつ正確に対応してまいります。また、海外においては、海外カスタマーサービスの専門部門を立ち上げ、現地法人や海外提携パートナーと連携し、グローバルで高品質なカスタマーサービスが提供できる体制を構築してまいります。

これらの課題への取り組みを通して、広く社会から支持され、持続した成長を実現できる当社グループを目指してまいります。

(5) 主要な事業内容（2018年9月30日現在）

事業区分	事業内容
グローバル事業	海外グループ会社ECサイト及び海外のインターネット通信販売事業者の運営するECサイトを通じた一般消費者への直接販売、並びに海外のインターネット通信販売事業者、海外の販売代理事業者、海外の美容専門店及び海外の百貨店運営事業者への卸売販売
リテールマーケティング事業	量販店運営事業者への卸売販売及びカタログ販売並びにテレビ通信販売事業者への卸売販売
ダイレクトマーケティング事業	当社及び国内他社ECサイトを通じた一般消費者への直接販売及びインターネット通信販売事業者への卸売販売
ブランドストア事業	百貨店運営事業者並びに免税店運営事業者への卸売販売及び当社運営の小売店舗での対面販売を通じた一般消費者への直接販売
プロフェッショナル事業	美容サロン運営事業者への卸売販売、エステティックサロン運営事業者への卸売販売及びフィットネスクラブ運営事業者と提携している販売代理事業者への卸売販売、提携企業での職域販売（社員への直接販売）並びにフィットネスクラブでの一般消費者への直接販売
その他事業	ウォーターサーバー事業、EV事業、中古自動車販売事業、SIXPAD STATION事業、スマートリング（近距離無線通信を搭載した指に装着するリング）の製造販売を行うIoT事業及びOEM事業

(6) 主要な営業所及び工場（2018年9月30日現在）

① 当社

本社	愛知県名古屋市中村区
支社	東京都千代田区
営業所	愛知県名古屋市中村区、愛知県名古屋市西区、愛知県名古屋市東区、東京都中央区、大阪府大阪市淀川区、福岡県福岡市博多区
工場	愛知県名古屋市中川区、山梨県南都留郡

② 子会社

株式会社 ブレイズ	愛知県名古屋市中川区
株式会社 TWELVE	愛知県名古屋市中村区
株式会社 Bnext	愛知県名古屋市中村区
株式会社 MTG プロフェッショナル	愛知県名古屋市中村区
株式会社 サカモトフリエイト	山梨県南都留郡
株式会社 ポジティブサイコロジースクール	東京都港区
株式会社 MTG メディカル	東京都中央区
株式会社 MTG modeliste	愛知県名古屋市中村区
愛姆緹姫（深圳）商貿有限公司（略称：MTG深圳）	中国深圳市
愛姆緹姫（上海）商貿有限公司（略称：MTG上海）	中国上海市
愛姆緹姫股份有限公司（略称：MTG台湾）	台湾台北市
MTG PACIFIC PTE.LTD.（略称：MTGパシフィック）	シンガポール国シンガポール市
MTG USA,INC.（略称：MTG USA）	米国ニューヨーク州ニューヨーク市
MTG KOREA Co.,Ltd（略称：MTG KOREA）	韓国ソウル市
MCLEAR LIMITED（略称：マクレアUK）	英国ウェスト・ヨークシャー州ブラッドフォード市
MTG UK CO.LTD.（略称：MTG UK）	英国ロンドン市
MTG EUROPE B.V.（略称：MTG EUROPE）	オランダ アムステルダム市
MTG FRANCE SAS（略称：MTG FRANCE）	フランス パリ市

(7) 従業員の状況（2018年9月30日現在）

① 企業集団の従業員の状況

事業区分	従業員数
グローバル事業	213（ 16）名
リテールマーケティング事業	77（ 7）
ダイレクトマーケティング事業	51（ 13）
ブランドストア事業	123（ 10）
プロフェッショナル事業	195（ 17）
その他事業	77（ 9）
全社（共通）	469（206）
合計	1,205（278）

(注) 1.従業員数は就業人員（当社グループから当社グループ外への出向を除き、当社グループ外から当社グループへの出向者を含む）であり、臨時雇用者数（パートタイマー）は、（ ）外数で記載しております。
2.全社（共通）として記載されている従業員数は、主に管理部門、生産管理部門及び開発部門等に所属しているものであります。

② 当社の従業員の状況

従業員数	平均年齢	平均勤続年数
837名	35.0歳	2年11ヶ月

(注) 従業員数はパートタイマーを含めると、1,091名になります。

(8) 主要な借入先の状況（2018年9月30日現在）

該当事項はありません。

2 会社の現況

(1) 株式の状況（2018年9月30日現在）

① 発行可能株式総数 120,000,000株
(注) 2018年1月18日開催の取締役会決議により、2018年2月17日付で株式分割に伴う定款の変更を行い、発行可能株式総数は110,000,000株増加し、120,000,000株となっております。

② 発行済株式の総数 39,680,000株
(注) 1.2018年1月18日開催の取締役会決議により、2018年2月17日付で普通株式1株につき12株の割合で株式分割を行っております。これにより発行済株式総数は30,800,000株増加し、33,600,000株となっております。
2.2018年2月17日開催の臨時株主総会決議により、2018年2月17日付で1単元を100株とする単元株制度を採用しております。
3.2018年5月29日開催の取締役会決議に基づく、公募による新株発行により、発行済株式の総数は2018年7月9日付で5,045,000株増加しております。
4.2018年5月29日及び2018年6月21日開催の取締役会決議に基づく、2018年8月7日付の第三者割当増資による新株式の発行により、発行済株式の総数は1,035,000株増加しております。

③ 株主数 8,392名

④ 大株主の状況（上位14名）

株主名	持株数	持株比率
松下 剛	21,576,440株	54.37（％）
株式会社M コーポレーション	6,360,000	16.02
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,189,600	2.99
MTG持株会	1,120,440	2.82
ジャフコ SV4共有投資事業有限責任組合	960,000	2.41
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	840,400	2.11
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	687,600	1.73
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口9）	501,300	1.26
GOLDMAN,SACHS & CO.REG	274,500	0.69
川嶋 光貴	240,000	0.60
清川 卓也	240,000	0.60
長友 孝二	240,000	0.60
中島 敬三	240,000	0.60
富士フイルム株式会社	240,000	0.60

(注) 1.自己株式は所有していません。
2.日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口、信託口9）及び日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）の持株数は、全て信託業務に係る株式です。

(2) 会社役員の状況（2018年9月30日現在）

① 取締役の状況

会社における地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役社長	松 下 剛	
常務取締役	中 島 敬 三	グローバルブランド事業本部担当 愛姆緹姫股份有限公司（略称：MTG台湾） 代表公司負責人 MTG FRANCE SAS（略称：MTG FRANCE） President MTG UK CO. LTD.（略称：MTG UK） Director
取締役	川 嶋 光 貴	生産統括本部担当 株式会社MTGメディカル 代表取締役
取締役	長 友 孝 二	企画開発本部担当
取締役	本 島 一	ダイレクトマーケティング事業本部担当
取締役	井 上 祐 介	プロフェッショナル事業本部担当 株式会社MTGプロフェッショナル 代表取締役
取締役	長谷川 徳 男	法務知的財産本部担当
取締役 （常勤監査等委員）	後 藤 博	
取締役 （監査等委員）	中 浜 明 光	中浜明光公認会計士事務所 所長 ミタチ産業株式会社 社外取締役 トビラシステムズ株式会社 社外取締役 株式会社安江工務店 社外取締役 AZAPA株式会社 社外取締役 株式会社コメダホールディングス 社外取締役 株式会社コメダ 監査役
取締役 （監査等委員）	神 谷 俊 一	弁護士法人漆間総合法律事務所 所属弁護士 株式会社サガミチェーン（現株式会社サガミホールディングス） 社外監査役 株式会社中外 社外監査役

(注) 1.取締役長谷川徳男氏は、2017年12月26日開催の第22回定時株主総会において、新たに選任され、就任しております。
2.取締役（監査等委員）後藤博氏、中浜明光氏及び神谷俊一氏は社外取締役であります。なお、当社は各氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。
3.取締役（監査等委員）中浜明光氏は、公認会計士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。
4.情報収集の充実を図り、内部監査室等との十分な連携を通じて監査の実効性を高め、監査・監督機能を強化するために、後藤博氏を常勤の監査等委員として選定しております。
5.常務取締役中島敬三氏は、2018年6月6日付でMTG FRANCE SASのPresident及び2018年7月19日付でMTG UK CO. LTD.のDirectorに就任しております。

② 責任限定契約の内容の概要

当社と取締役（監査等委員）は、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。
当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、同法第425条第1項に定める額としております。

③ 取締役の報酬等

当事業年度に係る報酬等の総額		
区分	員数	報酬等の額
取締役（監査等委員を除く）	7名	153百万円
取締役（監査等委員） （うち社外取締役）	3 (3)	14 (14)
合計 （うち社外取締役）	10 (3)	168 (14)

(注) 1.取締役の報酬等の額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。
2.取締役（監査等委員を除く）の報酬限度額は、2017年3月24日開催の臨時株主総会において、年額500百万円以内と決議いただいております。
3.取締役（監査等委員）の報酬限度額は、2017年3月24日開催の臨時株主総会において、年額100百万円以内と決議いただいております。

④ 社外役員に関する事項

イ. 他の法人等の重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係

- ・取締役（監査等委員）中浜明光氏は、中浜明光公認会計士事務所所長であり、またミタチ産業株式会社、トビラシステムズ株式会社、株式会社安江工務店、AZAPA株式会社及び株式会社コメダホールディングスの社外取締役並びに株式会社コメダの監査役であります。当社と各兼職先との間には特別の関係はありません。
- ・取締役（監査等委員）神谷俊一氏は、弁護士法人漆間総合法律事務所の所属弁護士であり、また株式会社サガミチェーン（現株式会社サガミホールディングス）及び株式会社中外の社外監査役であります。当社と兼職先との間には特別の関係はありません。

□. 当事業年度における主な活動状況

出席状況及び発言状況	
取締役（監査等委員） 後藤 博	当事業年度に開催された取締役会22回及び監査等委員会17回の全てに出席致しました。自動車産業において長年にわたり経営に携わってきたことによる幅広い知見と経験に基づき経営全般の監視・監督を行っております。
取締役（監査等委員） 中浜 明光	当事業年度に開催された取締役会22回及び監査等委員会17回の全てに出席致しました。公認会計士として財務及び会計に関する専門的見地から、取締役会において、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行っております。
取締役（監査等委員） 神谷 俊一	当事業年度に開催された取締役会22回及び監査等委員会17回の全てに出席致しました。弁護士として法律に関する専門的な知識と経験並びに客観的・独立的な立場から、取締役会において、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行っております。

③ 剰余金の配当等の決定に関する方針

当社は、株主に対する利益還元を経営上の重要課題と認識しており、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況を勘案し、利益還元策を決定していく所存であります。しかしながら、当社は現在、成長過程にあると考えており、内部留保の充実を図り、事業の効率化と事業拡大のための投資等に充当し、なお一層の事業拡大を目指すことが、株主に対する最大の利益還元につながると考えております。

当期の剰余金の配当につきましては、業績など総合的に検討致しました結果、株主の皆様の日頃のご支援にお応えべく、2018年11月13日開催の臨時取締役会決議により1株当たり1円61銭とさせていただきます。

なお、当社は2018年2月17日付で普通株式1株につき12株の割合で株式分割を行っておりますので、前事業年度の期末配当金を株式分割後に換算致しますと、1株当たり配当金は67銭となり、当事業年度は94銭の増配となります。

m e m o

連結計算書類

■ 連結貸借対照表 (2018年9月30日現在)

科目	金額
資産の部	
〔流動資産〕	55,559
現金及び預金	30,055
受取手形及び売掛金	10,784
商品及び製品	10,054
原材料及び貯蔵品	1,649
前払費用	1,353
繰延税金資産	728
その他	940
貸倒引当金	△7
〔固定資産〕	16,563
有形固定資産	14,432
建物及び構築物	1,285
機械装置及び運搬具	116
工具、器具及び備品	746
土地	12,224
建設仮勘定	58
無形固定資産	792
ソフトウェア	347
のれん	271
その他	172
投資その他の資産	1,338
投資有価証券	442
繰延税金資産	96
その他	803
貸倒引当金	△2
資産合計	72,122

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

科目	金額
負債の部	
〔流動負債〕	12,553
支払手形及び買掛金	4,984
未払金	2,310
未払法人税等	2,759
賞与引当金	297
役員賞与引当金	16
ポイント引当金	31
返品調整引当金	257
製品保証引当金	123
その他	1,772
〔固定負債〕	17
その他	17
負債合計	12,571
純資産の部	
〔株主資本〕	59,502
資本金	16,585
資本剰余金	23,210
利益剰余金	19,705
〔その他の包括利益累計額〕	43
その他有価証券評価差額金	70
為替換算調整勘定	△26
〔新株予約権〕	4
純資産合計	59,551
負債純資産合計	72,122

■ 連結損益計算書 (2017年10月1日から2018年9月30日まで)

(単位：百万円)

科目	金額	
〔売上高〕		60,465
〔売上原価〕		21,768
売上総利益		38,697
返品調整引当金戻入額		126
返品調整引当金繰入額		257
差引売上総利益		38,566
〔販売費及び一般管理費〕		29,678
営業利益		8,887
〔営業外収益〕		
受取利息及び配当金	3	
受取地代家賃	194	
権利金収入	180	
訴訟損失引当金戻入額	100	
その他	49	528
〔営業外費用〕		
支払利息	19	
為替差損	8	
株式交付費	256	
持分法による投資損失	200	
その他	47	532
経常利益		8,882
〔特別損失〕		
固定資産除却損	41	41
税金等調整前当期純利益		8,841
法人税、住民税及び事業税	3,349	
法人税等調整額	△21	3,327
当期純利益		5,513
親会社株主に帰属する当期純利益		5,513

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 貸借対照表（2018年9月30日現在）

科目	金額
資産の部	
〔流動資産〕	50,149
現金及び預金	27,633
受取手形及び売掛金	9,049
商品及び製品	9,074
原材料及び貯蔵品	1,519
前払費用	1,282
関係会社短期貸付金	297
繰延税金資産	474
その他	823
貸倒引当金	△7
〔固定資産〕	19,101
有形固定資産	14,217
建物及び構築物	1,246
機械装置及び運搬具	114
工具、器具及び備品	572
土地	12,224
建設仮勘定	58
無形固定資産	341
ソフトウェア	247
ソフトウェア仮勘定	92
その他	0
投資その他の資産	4,541
投資有価証券	342
関係会社株式	2,259
関係会社長期貸付金	1,106
繰延税金資産	110
その他	725
貸倒引当金	△2
資産合計	69,250

（注）金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

（単位：百万円）

科目	金額
負債の部	
〔流動負債〕	9,675
買掛金	2,142
未払金	2,667
未払法人税等	2,648
賞与引当金	220
役員賞与引当金	15
ポイント引当金	31
返品調整引当金	257
製品保証引当金	123
その他	1,568
〔固定負債〕	3
その他	3
負債合計	9,678
純資産の部	
〔株主資本〕	59,496
資本金	16,585
資本剰余金	23,210
資本準備金	16,485
その他資本剰余金	6,725
利益剰余金	19,699
利益準備金	8
その他利益剰余金	19,691
別途積立金	920
特別償却準備金	37
繰越利益剰余金	18,733
〔評価・換算差額等〕	70
その他有価証券評価差額金	70
〔新株予約権〕	4
純資産合計	59,571
負債純資産合計	69,250

■ 損益計算書（2017年10月1日から2018年9月30日まで）

（単位：百万円）

科目	金額	
〔売上高〕		55,833
〔売上原価〕		20,915
売上総利益		34,917
返品調整引当金戻入額		126
返品調整引当金繰入額		257
差引売上総利益		34,786
〔販売費及び一般管理費〕		25,968
営業利益		8,817
〔営業外収益〕		
受取利息及び配当金	10	
為替差益	26	
受取地代家賃	194	
権利金収入	180	
その他	43	455
〔営業外費用〕		
支払利息	14	
株式交付費	256	
関係会社株式評価損	200	
その他	45	516
経常利益		8,756
〔特別損失〕		
固定資産除却損	41	41
税引前当期純利益		8,715
法人税、住民税及び事業税	3,045	
法人税等調整額	6	3,051
当期純利益		5,663

（注）金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結計算書類に係る会計監査報告

独立監査人の監査報告書				2018年11月22日
株式会社MTG 取締役会 御中		有限責任監査法人トーマツ		
		指定有限責任社員 業 務 執 行 社 員	公認会計士	今 泉 誠 ㊞
		指定有限責任社員 業 務 執 行 社 員	公認会計士	坂 部 彰 彦 ㊞
当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、株式会社MTGの2017年10月1日から2018年9月30日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。				
連結計算書類に対する経営者の責任				
経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。				
監査人の責任				
当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。				
監査においては、連結計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結計算書類の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結計算書類の表示を検討することが含まれる。				
当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。				
監査意見				
当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社MTG及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。				
利害関係				
会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。				
				以 上

■ 計算書類に係る会計監査報告

独立監査人の監査報告書				2018年11月22日
株式会社MTG 取締役会 御中		有限責任監査法人トーマツ		
		指定有限責任社員 業 務 執 行 社 員	公認会計士	今 泉 誠 ㊞
		指定有限責任社員 業 務 執 行 社 員	公認会計士	坂 部 彰 彦 ㊞
当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社MTGの2017年10月1日から2018年9月30日までの第23期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。				
計算書類等に対する経営者の責任				
経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。				
監査人の責任				
当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。				
監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。				
当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。				
監査意見				
当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。				
利害関係				
会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。				
				以 上



会 場：名古屋観光ホテル 3階 那古の間
愛知県名古屋市中区錦一丁目19-30
TEL：052-231-7711 (代)

交通：名古屋市営地下鉄
東山線・鶴舞線「伏見駅」下車
8、9、10番出口より徒歩2分

